



— 市民しんぶん山科区版 —

7
15 号

やましな

区役所HP <http://www.city.kyoto.lg.jp/yamasina/>夏休みを
安全に楽しむ

待ちに待った夏休み。海へ山へとレジャーの計画を立てたり、夏ならではの遊びを楽しんだり、と気持ちもワクワクしてくるころでしょう。

でもその前に。この季節に特に起こりやすい事故もあります。未然に事故を防ぐ知識を持ち、楽しい夏を過ごしましょう。

花火を安全に楽しもう

夏の遊びといえば「花火」ですね。子ども達の遊んでいる花火であっても火薬を使っているため、ちょっとした不注意や使い方の誤りからけがをしたり、火災を招いたりします。

親や周囲の大人が注意を払い、日ごろから火の恐しさや火災予防の大切さを話し合っておきましょう。



花火を通して子ども達に大切なマナーを教えるのは大人の役目です

- 風の強い日は避けましょう
- 子どもだけで遊ばず、必ず大人が付き添いましょう
- 一度にたくさんの花火に点火をしないようにしましょう
- 確実に火を消すため、水の入ったバケツを用意しましょう
- 周りに燃えやすい物がないか、花火の音が近隣の迷惑にならないかなど場所と時間を選びましょう

熱中症を防ごう

熱中症は、例年、梅雨明けの7月下旬から8月上旬に多発する傾向があります。熱中症は死に至る可能性もありますが、予防法を知っていれば防ぐことができます。猛暑の到来に備え、熱中症を防ぐ知識を身に付けておきましょう。

- 屋外では暑さを避ける工夫をしましょう（日陰を選んで歩く、日傘をさす、帽子をかぶる）
- こまめに水分を補給しましょう
- 急に暑くなる日に注意しましょう（熱中症になる人は、久しぶりに暑い環境で活動した人や作業の初日に多い）

水の事故をなくそう

夏は、他の時期と比べて水のある場所で過ごすことが多くなるため、水の事故発生の可能性が高くなります。水の事故を防ぎ、楽しく水と親しめるよう気を付けましょう。

- 体調がすぐれない時は遊泳を行わないようにしましょう
- 水辺のレジャー（釣りなど）を楽しむ時には、ライフジャケットを着用しましょう
- 天候の変化に応じて中止するといった判断も必要です
- 子どもの水遊び中は必ず大人が付き添い、目を離さないようにしましょう

8月8日(金)は

山科消防署へ行こう

<荒天時は8月21日(木)に延期>

消防訓練の見学や体験をしてみよう。夏休みの自由研究のテーマにもなるよ。

内容 ● 消防車両や消防署内の見学
● 消防訓練の見学・体験
● 防火衣の着装体験
● 消防の仕事についての質問コーナー

対象 小学生



定員 30名

申込み 電話、先着順

問合せ先 山科消防署総務課企画

広報係 (☎592-9755)

詳しくは山科消防署ホームページをご覧ください。

http://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/soshiki/25-12-0-0-0_3.html